

出資法人等評価・カルテシート（平成 31 年度分）

1 出資法人等の概要

団体名	公益社団法人 豊中市シルバー人材センター		
所在地	豊中市北桜塚 3-1-28	所管部局・課	市民協働部 くらし支援課
設立年月日	昭和 56 年 6 月 30 日	代表者	理事長 高木 功
基本金・資本金		うち市出資額（率）	円（ %）
設立目的	定年退職者等の高年齢退職者（以下「高年齢者」という。）の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務（当該業務に係る労働力の需給の状況、当該業務の処理の実情等を考慮して厚生労働大臣が定めるものに限る。）に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その就業を援助して、これらの者の生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。		

2 役員・職員関係

各年 4 月 1 日現在

		H29			H30			H31		
		市職員	市OB		市職員	市OB		市職員	市OB	
役員	常勤	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	非常勤	11	1	1	10	0※	1	11	1	1
職員	常勤	6	0	0	6	0	0	6	0	0
	非常勤	3	0	1	3	0	1	3	0	1
役員の平均年間報酬（H30年度、千円）※常勤のみ		0 円			職員の平均年間給与（H30年度、千円）・平均年齢 ※常勤のみ			7,017 千円・55.6 歳		

※市派遣理事として市民協働部長が任せられるが、平成 30 年 4 月 1 日段階では、新任の市民協働部長を役員として承認する理事会が未開催であったため、市派遣理事は欠員として記載している。

3 財務関係

		金額（千円）		
		H28	H29	H30
損益計算書	総収入	786,161	790,334	809,052
	（うち市受入金）	38,600	37,600	37,100
	総費用	771,717	797,413	814,563
	経常損益	14,444	▲7,079	▲5,511
	当期損益	14,444	▲7,079	▲5,511

		金額（千円）		
		H28	H29	H30
貸借対照表	資産の部合計	197,751	182,919	180,309
	負債の部合計	101,824	94,071	96,971
	（うち有利子負債）	0	0	0
	純資産	95,927	88,848	83,338
	利益剰余金	95,927	88,848	83,338

4 市の財政的関与の状況

(単位：千円)

		H28	H29	H30	主な内容、算出根拠等
フロー	補助金	38,600	37,600	37,100	
	事業費	38,600	37,600	37,100	シルバー人材センター事業
	運営費				
	委託料	170,190	169,813	174,540	放置自転車等一括業務、ペットボトル搬送業務など
	指定管理委託料				
	その他				
計					
ストック	貸付金残高				
	債務保証残高				
	損失補償残高				
	出資金				
	その他				
計					

5 経営の状況

(1) 出資法人等の主な事業

事業名	事業内容	活動指標	H28	H29	H30
就業機会確保事業	会員に就業機会の提供 仕事に契約まで至った件数	就業率	76.3%	77.7%	76.7%
		契約件数	11,293 件	11,028 件	11,597 件
労働者派遣事業	会員に就業機会の提供	延べ就業人数	19,279 人	19,792 人	20,773 人
		事務手数料	9,732 千円	9,836 千円	10,594 千円
有料職業紹介	会員に就業機会の提供	延べ就業人数	15 人	15 人	15 人
普及啓発事業	会員に就業機会の提供 仕事の依頼があった件数	粗入会率	1.4%	1.4%	1.4%
		申込件数	12,194 件	11,823 件	11,856 件

(2) 財務指標

指標	視点	内容	H28	H29	H30
市受入金比率 市受入金／経常収益×100	自立性	市への財政的依存度を表わします。一般的に数値が低いほど、財政的に自立性が高いといえます。	4.90	4.75	4.59
人件費比率(%) 人件費／経常費用×100	効率性	数値が低いほど財務の弾力性が高いといえます。総支出における相談業務等のマンパワーが業務の中心となる団体については高くなる傾向にあります。	14.11	13.81	16.16
管理費比率(%) 管理費／経常費用×100	効率性	コスト体質を表すもので、一般的に数値が低いほど効率が良いとされます。	1.26	1.84	1.16
正味財産比率(%) 正味財産合計／(負債＋正味財産合計)×100	安全性	負債及び正味財産合計に対する正味財産合計の割合。自己資本の比率が高いほど資本構成が良く、経営の安全性が高いといえます。	48.50	48.57	46.22
固定比率(%) 固定資産／正味財産合計×100	安全性	正味財産合計に対する固定資産の割合。固定資産を返済不要な正味財産合計でまかなわれているかを表わします。100%未満であれば安全性が高いといえます。長期的な経営の安全性を示しています。	37.17	29.02	30.26
流動比率(%) 流動資産／流動負債×100	安全性	1年以内に返済を要する負債に対する1年以内に資金化できる資産の割合。数値が高いほど支払い能力が高いといえます。100%を下回る場合は注意が必要です。	221.45	209.22	196.59

(3) その他

ア 給与体系

区分	<input type="checkbox"/> 独自体系 <input checked="" type="checkbox"/> 市の体系を準用 <input type="checkbox"/> その他 ()
見直し予定	<input checked="" type="checkbox"/> 予定あり(検討中) <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 済み(年 月)

イ 情報公開

公開ツール	<input type="checkbox"/> ホームページ(URL:) <input type="checkbox"/> 広報紙 <input checked="" type="checkbox"/> 事務所備え付け <input type="checkbox"/> その他 ()
公開内容	<input checked="" type="checkbox"/> 定款 <input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画 <input checked="" type="checkbox"/> 事業報告 <input checked="" type="checkbox"/> 経営計画 <input checked="" type="checkbox"/> 財務諸表

ウ 指定管理者の状況

施設名	指定管理期間	備考

6 経営上の課題

<p>・会員の粗入会率(豊中市の60歳以上の人口から算出)が1.4%(男性2.26%、女性0.73%)であり、ここ数年伸び悩んでおり、会員の増強が継続した課題である。また、定年延長の影響もあり60歳台の入会者が少なく、現会員の平均年齢の高齢化が進み、発注者ニーズにあった就業とのマッチングが困難になっている。そのため、後期高齢会員への対策が必要となっている。</p> <p>・法人設立から38年が過ぎ、現法人職員が定年を迎える。現在定年後の再雇用などで対応しているが、事務局組織の再構築等が必要である。</p> <p>・センター事業の充実と会員数の増強の為、平成30年度より庄内支所を開設したが、より一層の機能の強化が必要である。</p>

7 経営改革の取り組み(平成30年度)

項目	取り組み内容	今後の課題・方向性
中期事業発展計画の具体化と実行	計画の目標達成に向け、各種委員会・部会等が中心となり事業を進めている。 また、会員数の目標数値達成に向け特に、豊中市南部地区の会員増強・獲得や新たな就業先確保のため、利便性に優れた豊中市庄内駅前庁舎内に庄内支所を開設した。 第2期計画開始2年度目となり、事業の振り返りと達成状況を確認しつつ、普及啓発に取り組んだ。	第1期に続き、第2期も目標達成に向け事業を進めてきたが、事業実績等は目標数値等を達成した。 しかしながら、会員数が増加せず横ばい傾向のため、その原因の分析と新会員の獲得や、退会会員を抑制するためのゴールド会員(仮称)制度の導入等について近隣センターの事例も参考に制度設計を進めていく。 また、平成31年度は、北摂七市三町合同フェスティバルの開催地になることもあり、更なる会員増強とPRに努めていきたい。

8 出資法人等の自己評価

評価の視点	評価	今後の取り組み方針
<p>必要性 ・実施事業は、社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか</p>	<p>高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、臨時的・短期的あるいは軽易な業務を、「請負・委任契約」「労働者派遣事業」「有料職業紹介事業」などにより、高齢者に対して多様な働き方の一つとして「グループ就業」「ローテーション就業」などとして提供することにより、生きがいづくり、社会参加、健康の保持など高齢者が参画できる場の提供をおこなっている。</p>	<p>企業における定年延長などが定着してきている中、その対象となった世代が65歳に到達してきている。 会社から地域社会へと生活の基盤の移動が始まってくることや、地域の担い手として新たな期待も高まっていることから、センターの役割も大きくなっていると考えている。 地域入会説明会の積極的な開催、チラシ、講演会等を活用し、引き続き、新規会員の入会の促進と仕事の開拓に努めていく。また、就業就労を紹介することを目的として設立された団体との連携を深め、求職者等のニーズに答えられるよう努めていきたい。</p>
<p>効率性 ・人的・物的な経営資源は有効に活用しているか ・組織体制、人事給与水準は適正か</p>	<p>会員の経験・能力を活用した事務局体制づくりと組織内の活性化策としてチーム制に改編し、業務のスピーディ化をめざし実施。 事務局内の内部牽制体制の確立。</p>	<p>平成30年度決算では、平成29年度実績を僅かながら上回ることができた。今後も、引き続き事業実績の拡張に努めるとともに、運営経費についてはなお一層の縮減に努めるとともに、連合補助金等を十分活用し、当事業の発展に努めていく。</p>
<p>有効性 ・意図する成果に有効に結びついているか</p>	<p>新入会員の入会動機が、「生きがいづくり」から「経済的な理由」に変化してきている。 当センターは、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、「請負・委任契約」「労働者派遣事業」「有料職業紹介事業」などを行うことができることから、多種多様な会員の希望に応えるとともに、発注者のニーズにも多様な方法で対応している。</p>	<p>法令順守の中で、発注者の多種多様なニーズに 대응していけるように努めていく。 センター事業の目的達成に向け、従来からの業務の充実強化と新たな活動分野の開拓等に努めていくとともに、センターに依頼される仕事は、可能な限り受注し就業につなげたい。 そのためにも、更なる会員数の増強に努めるとともに、既存の会員には、希望職種を見直し新たな仕事にチャレンジするよう促していく。</p>
<p>総合評価</p>	<p>関係法令を順守し、会員はもちろんのこと、一般市民の参加もできる講演会・講習会等の開催をはじめ、開かれた組織運営を展開した。 ハローワークにおいて、60歳以上の雇用の場が非常に少ないと聞くが、当センターのような臨時的・短期的あるいは軽易な業務ではあるが、高齢者が働く場を提供することにより、社会参加でき、いつまでも健康でいられることなどの目的達成ができた。</p>	<p>超高齢社会といわれる今、このセンター事業は、地域の高齢者が地域の中で活動していき、働くことで生きがいと健康の保持につながっている。また、65歳以上の高齢者にとっては、現実問題として就労が厳しい面もあるが、多様で柔軟な就業形態として、頼れる存在の一つとして、この事業は大変重要であり、会員等の満足度を高めていくことに加え、会員のみならず、一般高齢者、市民、事業所などより多くの人が参画できる魅力あるセンターづくりに努めたいと考える。</p>

9 市による評価

評価の視点	評価内容	課題・方向性
<p>団体の存在意義 (必要性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出資目的は薄れていないか ・ 市の施策の方向性に適合しているか 	<p>高年齢者等の雇用の安定等に関する法律（以下単に「法」という。）に基づき、定年退職者等の高年齢退職者（以下「高年齢者」という。）の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その就業を援助して、これらの者の生きがいがづくり、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与する目的で設立されており、これらの目的達成に向けた取組みを行っています。</p>	<p>高年齢者の増加や人口動態の変化により、高年齢者の多様な活躍の場が求められている昨今の社会状況を受け止め、高年齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、社会ニーズに迅速かつ適切に対応いただき、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりへの寄与を一層推進していただきたいと思います。</p> <p>会員になると見込まれる高年齢者層が増加しているにもかかわらず、会員数が横ばい傾向である要因としては、企業での定年後の再雇用の進展や、就職による退会なども考えられるが、会員の満足度を高めることによる退会者の抑制やさまざまなメディア・ネットワークを活用し、新規入会者の獲得取り組んでいただきたいと思います。</p>
<p>団体の活動領域 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出資法人等を活用するメリットはあるか ・ 出資法人等にしかできないことか 	<p>法により、高年齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その就業を援助して、これらの者の生きがいがづくり、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与する目的で設立されており、これらの目的達成に向けた一層の取組みを期待しています。</p>	<p>引き続き事業実績の拡張及び運営経費の縮減に努め、市民の信頼を維持・増進し、今後、増加していく高年齢者のニーズに適うよう、その目的達成に向けて、新たな活動領域の開拓等を着実に遂行していただきたいと思います。</p> <p>また、今後一層高年齢者の雇用労働施策の進展に、市や関係団体等と緊密に連携して、迅速かつ的確に対応していただくとともに、現在実施している豊中市生涯現役促進地域連携事業ともより一層連携することにより、相互作用で事業効果を高めていただきたいと思います。</p>
<p>団体と市との関係性 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の成果が市の施策の推進にどれだけ貢献しているか ・ 市の関与は適切か 	<p>高年齢者の就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その就業を援助して、これらの者の生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりへの寄与は、市の施策の推進と同方向を示しています。</p> <p>シルバー人材センターから市が役務を受ける契約は、政策目的随契（いわゆる3号随契）により契約金額の大小にかかわらず締結が可能ですので、予算編成時期に各課に周知し積極的に活用いただくよう周知しています。</p> <p>なお、市から補助金及び役員（理事）</p>	<p>高年齢者の就業機会の確保や、生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進、さらに高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりは、重要な施策であるので、会員数の拡大や就業機会の確保など、第2期中期事業計画で示された目標達成が実現できるよう、市及び関係団体とこれまで以上に協働して取り組みを進めていくとともに、関連施策と緊密な連携を行っていただきたいと思います。</p> <p>また、平成30年度に新設した「豊中しごとセンター」内庄内支所を活用しながら、南部地区での新たな会員獲得や事業展開を図っていただきたいと思います。</p>

	<p>派遣等の支援を行っていますが、経営改善並びに会員数の増及び会員の満足度を一層進めていただきたいと思います。</p>	
<p>総合評価</p>	<p>法の目的を達成するよう、法が認める活動領域で、就業援助、生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに一層の寄与・貢献を図っていただきたいと思います。また、第2期中期事業計画に掲げられた目標は、必ず達成するよう、これまで以上の展開を望みます。</p>	<p>高齢化が進む中、社会経済の活力を維持するためには、就業援助、生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりが求められています。シルバー人材センターには、これまで以上に期待が寄せられるところです。</p> <p>そのためには、新たな活動領域の開拓や、事務の効率化や営業体制の強化を一層進めるとともに、会員のみならず広く市民や事業者を対象とする事業を行うことなどにより、第2期中期事業計画の着実な実施に取り組み、また給与体系の見直しなどの経営改善にも引き続き着実に取り組んでいただきたいと思います。</p>